

平成26年度生涯学習振興・社会教育関係職員等研修  
**施策立案研修**

# プレゼンテーションについて

**【ねらい】**

発表に向けて、プレゼンテーションの力を高める。

# アウトライン

- 1 プレゼンテーションとは
- 2 プレゼンテーションに挑戦
- 3 プレゼンテーションの留意点



# 1 プレゼンテーションとは

**あなたが誰かを説得し、  
その人があなたの考えに  
同意し、決断して、  
実行に移すようにしむけること**



ボブ・ボイラン『プレゼンテーション成功の秘訣』  
TBSブリタニカ，1993

## 2 プレゼンテーションに挑戦

- (1) 準備について
- (2) プレゼンの流れ
- (3) 構成の例 (参考)

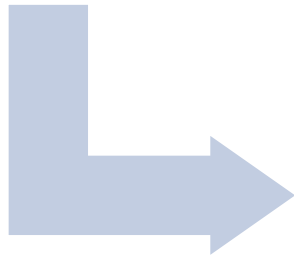
# (1) 準備について

- 発表内容 **提案型プレゼンテーション**
  - ・ 「事業計画書」のプレゼン（提案）
- 発表時間
  - ・ **発表 20分** + 10分（意見交換，講評）
- 作成するスライド
  - ・ **10枚程度**（1枚2分）
  - ・ 「Powerpoint」で作成（**読み原稿**も入れる）
- 提出締切
  - 【1回目】 10月6日（月）
    - ※ 講師等から複数回助言・指導を受ける。
  - 【最終】 **11月14日（金）**（資料印刷等は，センターが行う。）

## (2) プレゼンの流れ

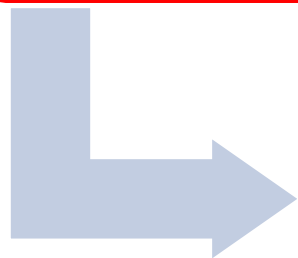
### 導入

- ・ あいさつ（自己紹介）
- ・ 趣旨説明



### 展開

- ・ アイディア
- ・ 裏付けデータ
- ・ 具体的なプランや事例
- ・ 見込まれる成果や効果



### まとめ

- ・ 要約
- ・ あいさつ  
(・ 質疑応答)

- **ストーリー展開の作成**  
**(導入ー展開ーまとめ)**
- **まずは「見出し」を列挙**
- **取捨選択（欲張らない）**
- **文章は箇条書きに**
- **全体を貫くキーワード**
- **用語を統一**

# (3) 構成の例 (参考)

大竹市の伝統技術  
— 手すき和紙の継承のために —

大竹市教育委員会 生涯学習課 中本篤子

### 和紙を後世に継承する意義

- 大竹市で指定されている無形文化財
  - 大竹祭の嫁行列と山車の風流
  - 秋波宿草陣 陣入やっこ
- 大村訓一氏江戸時代からの技法を今に伝える生産者として昭和58年に無形文化財保持者に指定。
- 小瀬川流域にある徳仁原小学校の子どもの卒業証書づくり(約15年間)や和紙太鼓演奏活動(約25年間)などに発展。

- 和紙を作る環境(小瀬川沿岸)に大きな変化なし。
- 県内では大竹市だけが和紙を作っている。
- 市民が市外に向かって誇れるもの。

※ 大竹手すき和紙の継承・発展が実現すれば、市民の認知度も高まり、第5次総合計画の基本目標の推進力になる。

↓

**大竹を愛する人づくり**

### 継承に向けて

● 社会教育行政として取り組むべきこと

**Step1. 市民に対し、和紙への関心を高める取り組みを行う。**

**Step2. “和紙の街大竹”を発信し、和紙保存・活用環境を整える**

**Step3. “和紙の街大竹”を定着させ、継続して保存・活用できる環境を整える**

**Step1. 市民に対し、和紙への関心を高める取り組みを行う。**

- 学校や各団体と連携し“和紙PR事業”を展開
  - 書道初日の会、親子紙づくり・用上げ大会
  - 手すき紙の折り体験教室、紙太鼓教室
  - 展示会(大竹和紙の歴史、和紙ができるまでの工程 手すき紙の折りなど)

- “和紙の保存・活用”を課題として市民に発信し、市民と行政が協働できるようなワークショップ形式で方向を導き出す
  - 和紙に関わる団体や個人、事後所内研修員と共に一般公募でメンバーを募る。
  - 必ず若い世代をメンバーに入れる。

↓

原料不足解消や後継者育成に繋がる取り組みなど和紙保存のアイデアが出される。

**Step2. “和紙の街大竹”を発信し、和紙保存環境を整える**

- 行政と市民が協働しStep1-2で提案された方向に向かって取り組む

- 教育プログラムの開発。参加体験型学習による実践的な学び
  - 目的: 郷土理解 技術伝承 技術体験 工芸品開発
  - 対象: 子ども親子 子ども・地域住民 子ども・観光客 企業・自治団体

- 和紙の街大竹を市外や県外にも発信する。
  - 和紙体験などを目的とした観光客の獲得
  - 若者世代向けにSNSなどで情報発信
  - 保存会と共催事業を行い、協力者、後継者となる人材を育成

**Step2. “和紙の街大竹”を発信し、和紙保存・活用環境を整える**

- 行政と市民が協働しStep1-2で提案された方向・アイデアに向かって取り組む

- “和紙の街大竹”をさらに定着させる。
  - 例えば..
  - 施設施設⇒ 道の駅、和紙博物館
    - 観光客の受け入れが可能
    - 紙すき体験、和紙や工芸品、農産物、特産品販売、食事提供
    - 産業振興課や関連団体と連携

↓

**地域活性化、まちづくり**

- ワークショップやイベントに参加した人や美大生等を協力者・後継者に

### 課題クリアへの検証

- 市の方針・方向性が定まっていない ... STEP1の取り組み
- 後継者不足、保存会メンバーの高齢化 ... STEP2～3の取り組み
- PR不足 ... STEP2～3の取り組み
- 市民の認知度が低い ... STEP1～3の取り組み
- 建物や道具の老朽化 ... STEP3の取り組み
- 資金不足 ... STEP2～3の取り組みと予算確保
- 和紙の需要が少なく、産業として成り立たない ... STEP3の取り組み
- 原料である楮の不足 ... STEP2の取り組み

中本篤子(大竹市教育委員会)  
『大竹市の伝統芸能～手すき和紙の継承のために～』  
パワーポイント資料(一部抜粋)

広島県生涯学習研究実践交流会報告(広島県立生涯学習センターHP)  
<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/center/jiseenkouryukai-houkoku-260208.html>  
参照



**（※例※）**

**平成26年度生涯学習振興・社会教育関係職員等研修  
【施策立案研修】個人演習発表**

**テーマ（事業の題名）**

**所属  
名前**

## 1 枚目

# はじめに

---

## □ 発表の趣旨

- **つかみ** ⇒ 一番アピールしたいこと(ウリ)
- **提案の背景**  
⇒なぜこの発表(提案)を行うのか？
- **主張** ⇒ 思いを簡潔に

## □ 発表の流れ(目次)

## 地域の現状

---

- 問題の背景
  - ・何が原因なのか分析
  
- 地域（施設）の強みと弱み

## 3枚目

# 解決すべき地域の課題

---

## □ 課題の整理

- ・問題を課題化する
  - ・課題を絞り込む
- 解決する具体的な方向性

## 事業実施（解決策）の提案

---

### □ 課題に対する解決策の提案

- ・ 事業の趣旨（目的）
- ・ 具体的な取組内容，実施方法
- ・ 5W2Hを意識

What(何を) Why(なぜ) Who(誰が・誰に)

When(いつ) Where(どこで)

How(どのように) How much(いくらで)

# 実施体制

---

## □ 実施体制を図表化

- ・ 事業のステイクホルダーを想定
- ・ 自前主義からの脱却
- ・ 地域の様々な主体をつなげて  
連携・協働のネットワーク  
を生み出す



## 関係者の声・具体事例

---

### □ 関係者の声・具体事例

- **ヒアリング調査**等から得られた情報
- 実際の体験，現場の生の声
- 現場の雰囲気伝える
  - より**具体的なイメージ**に
  - **説得力UP**

(ヒアリング調査 インタビューシート)

## 8枚目

# 見込まれる成果・効果

---

- 事業の実施により得られることが見込まれる成果・効果
- 評価体制， 成果指標



# 今後の展望

---

- 中長期的なビジョンと  
具体的な実施内容, 方法等

# おわりに

---

## □ まとめ

- これまでに展開した説明の要旨
- 最終的に主張（アピール）したいこと
- 重要なキーワードを使って

# 3 プレゼンテーションの留意点

(1) プレゼンソフトの活用

(2) 話し方のコツ

# (1) プレゼンソフトの活用

## PowerPoint (パワーポイント)

### プレゼン資料作りの定番

- シンプル イズ ベスト
- 文字数は少なく, フォントは大きく
- 全体的な統一感 (デザイン)
- 視覚的な表現 (フロー, 図表, 写真)
- 無駄な装飾やアニメーションは不要
- 音声や動画の活用

## (2) 話し方のコツ

- 自分の言葉で
- 原稿をそのまま読まない（説明メモ）
- 一つの文章を短く（簡潔）
- 自信を持って（明瞭）
- 間，抑揚，繰り返し
- ボディランゲージを意識
- 聴き手の反応を見ながら
- おもてなしの心で

## □ 質問への対応に備える

- 想定質問（3つ程度）への回答を用意
- 誠実に対応
- 質問を聞くときには質問者を見る
- 応答は全体に向かって
- 短く，論理的に
- 予想外の質問には間をおく

**話し手と聴き手のコミュニケーション**

# 何はともあれ練習！

- **制限時間を守る**



時間内にきちんと内容がおさまるように、  
発表全体の時間の流れをあらかじめ計算

- **ストップウォッチを活用**

- **ぶっつけ本番は絶対ダメ！**

- **リハーサルを必ず行う**

聴き手からのフィードバック⇒改善

**プレゼンは一日にしてならず**  
**まずは挑戦してみましよう！**  
**練習あるのみ！**





## 【参考文献】

○赤尾克己・山本慶裕／編著『学びのスタイル 生涯学習入門』玉川大学出版部，1996

○ボブ・ボイラン『プレゼンテーション成功の秘訣』TBSブリタニカ，1993

○木村純一『行政マンの政策立案入門』学陽書房，2004